

実践団体情報

記入日	2020年1月6日（19年度のチャレンジプラン）
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
代表者名	校長 黒河 幸彦
プラン全体のタイトル	土砂災害・浸水被害から命を守れ～過去の災害から学ぶ～
電話番号	0897-37-2313
メールアドレス	n12233@city.niihama.lg.jp
実践団体の説明	平成16年豪雨災害及び平成30年西日本豪雨災害などにより、土砂災害や浸水被害など被災経験を踏まえ、毎年、5年生が様々なテーマを定め、防災学習に取り組んでいる。過去に防災科学技術研究所が開催したe防災マップ部門で2年連続最優秀賞を受賞した。
所属メンバー	担当：新居浜市消防本部 総務警防課 副課長 高橋直樹
活動地域	新居浜市金栄校区
活動開始時期・結成時期	2008年
過去の活動履歴・受賞歴	2014・2015年 e防災マップ最優秀賞受賞 2015年 地区防災計画モデル地区

プラン全体の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 豪雨災害の被災体験から得た教訓をもとに、小学生の防災力の向上を図り、命の大切さを学ぶ。 2 地域の危険箇所等を防災マップなどに反映し、金栄校区災害タイムラインを作成し地域で情報共有を図る。 3 松山地方気象台などの専門化を講師に招き、気象に関する情報、知識を習得するなど防災への関心を持たせる。 4 西日本豪雨災害などの自然災害から命を守るため、地域特性を知り、命を守る防災活動へ展開させる。
----------	---

プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月	年間計画立案		
5月	関係機関との協議	防災学習、防災訓練打合せ	
6月	関係機関との協議	防災学習、防災訓練打合せ	
7月	関係機関との協議	防災学習、防災訓練打合せ	
8月	気象台との講演調整	防災学習、防災訓練打合せ	
9月	防災学習	防災学習、防災訓練打合せ	過去の災害について 防災講演会
10月	防災学習 まちあるき	まちあるき打合せ	防災力を高める 防災マップについて まちあるき 地域防災訓練
11月	防災学習		まちあるき結果整理 防災マップ・タイムライン作製
12月	防災学習		防災マップ・タイムライン作製
1月	防災学習		防災マップ・タイムライン作製 防災学習発表準備
2月	防災学習		防災学習取りまとめ 防災学習発表会
3月	まとめ 次年度計画立案		

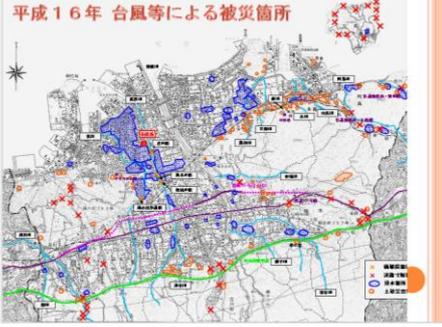
<p>プラン全体の反省点・課題・感想</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防職員がメインで防災教育を進めているため、災害発生した際には対応が困難となる可能性があった。 2 中学校に進学後も、防災教育を継続し、地域全体の防災力の向上を図る。 3 作成した金栄小学校災害タイムラインを来年度の災害発生時にいかに避難につながるかの検証が必要である。
<p>今後の活動予定</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 金栄小学校では、毎年5年生がテーマを変えながら防災教育を実施している。継続して防災学習に取り組み、地域全体の防災力向上を目的とする。 2 平成16年豪雨災害で甚大な被害を受けたことを風化させることなく、後世につなげていく。 3 金栄小学校災害タイムラインを活用し、災害発生時における身を守る行動等について検証を図り、地域内において情報共有を図る。

実践したプランの内容と成果

記入日	2020年1月6日（19年度のチャレンジプラン）
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	1
タイトル	土砂災害・浸水被害から命を守れ～過去の災害から学ぶ～
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	5,000円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	2019年9月13日（金）13時30分～15時30分
実践の所要時間	2時間
実践の運営側で動いた人の人数	3人
防災教育の対象者の属性	小学5年生（高学年）
防災教育の対象者の人数	約65人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市消防本部 消防職員 平成16年豪雨災害画像

達成目標	新居浜市内及び全国各地で発生した過去の災害について学び、自然災害が発生した際には、命を守る大切さを知る。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

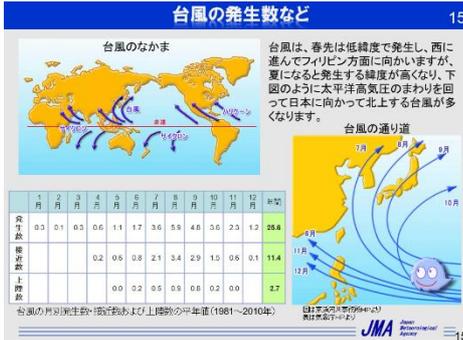
<p>実践内容・方法</p>	<p>今日の授業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶金栄校区、新居浜市の過去の災害内容を知る。 ▶金栄校区で災害が発生した場所を知る。 ▶金栄校区で発生する可能性がある災害を知る。 ▶金栄校区のハザードマップを見て、地域のことを知る。 	 <p>平成16年 台風等による被災箇所</p>
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 金栄校区、新居浜市及び全国で発生した過去の自然災害を知る。 2 金栄校区で自然災害が発生した箇所及び発生する可能性がある箇所を知る。 3 金栄校区のハザードマップを見て災害特性を知る。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦労・工夫</p>	<p>可能な限り、当時の画像を使用し、目で見て学ぶことに努めた。</p>	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>土砂災害・浸水被害から命を守り、過去の災害から学ぶ</p>

記入日	2020年1月6日（19年度のチャレンジプラン）
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	2
タイトル	防災講演会 ～愛媛の台風と気象～
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	0円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	2019年9月24日 10時00分～12時00分
実践の所要時間	2時間
実践の運営側で動いた人の人数	5人
防災教育の対象者の属性	小学4～6年生（高学年）
防災教育の対象者の人数	約150人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を 持った人・物品・ツール・知識等	松山地方気象台 気象予報官 松山地方気象台参考資料

達成目標	気象台の業務内容、愛媛県に接近した台風、防災気象情報について知識を深め、災害時に身を守ることができるよう防災力の向上を図る。	
どの力を身につけよ うとしましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;">  <p>台風の発生数など 15</p> <p>台風のなかま 台風は、春先は低緯度で発生し、西に進んでフィリピン方面に向かいますが、夏になると発生する緯度が高くなり、下図のように太平洋高気圧のまわりを回って日本に向かって北上する台風が多くなります。</p> <p>台風の通り道 7月 8月 9月 10月 11月 12月</p> <table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th>発生数</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>年平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発生数</td> <td>0.3</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> <td>0.6</td> <td>1.1</td> <td>1.7</td> <td>3.6</td> <td>5.5</td> <td>4.8</td> <td>2.6</td> <td>2.5</td> <td>1.2</td> <td>25.8</td> </tr> <tr> <td>接近数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.2</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td>2.1</td> <td>3.4</td> <td>2.9</td> <td>1.5</td> <td>0.8</td> <td>0.1</td> <td>11.4</td> </tr> <tr> <td>上陸数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.2</td> <td>0.5</td> <td>0.9</td> <td>0.8</td> <td>0.2</td> <td>0.0</td> <td></td> <td>2.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>台風の月別発生数・接近数および上陸数の平均値(1981～2010年)</p> </div> <div style="width: 48%;">  <p>台風に関する情報 32</p> <p>熱帯低気圧の情報 熱帯低気圧とは、赤道付近で発生し、西に進んでフィリピン方面に向かいますが、夏になると発生する緯度が高くなり、下図のように太平洋高気圧のまわりを回って日本に向かって北上する台風が多くなります。</p> <p>台風の大きさ 台風の大きさは、中心気圧と最大風速で表わされます。中心気圧が低いほど、最大風速が高いほど、台風の大きさは大きくなります。</p> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 気象台の業務内容の説明を受け、どのようにして天気予報ができているのかを知る。 2 台風発生数、台風に関する情報、局地的な大雨から身を守ることを命を学ぶ。 3 必要な防災気象情報について学び、有事の際に活用できる対応力を身に付ける。 		発生数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均	発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.5	4.8	2.6	2.5	1.2	25.8	接近数				0.2	0.8	0.8	2.1	3.4	2.9	1.5	0.8	0.1	11.4	上陸数					0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0		2.7
発生数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均																																													
発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.5	4.8	2.6	2.5	1.2	25.8																																													
接近数				0.2	0.8	0.8	2.1	3.4	2.9	1.5	0.8	0.1	11.4																																													
上陸数					0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0		2.7																																													
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 台風発生のメカニズム、局所的な大雨から身を守ることや、降水量と土砂災害、浸水被害がリンクしていることについて講話を聞き、土砂災害・浸水被害などから身を守る大切さを知ることができた。 2 防災情報の活用方法を学び、有事の際に活用することを知り得た。 																																																									
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>																																																								
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>																																																								
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>																																																								
<p>課題・苦労・工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 出水期の開催であったため、大雨警報等が発令されていた場合には開催が困難となる可能性があった。 																																																									

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>松山地方気象台</p>
<p>関係者の説明</p>	<p>気象予報官・土砂災害気象官</p>

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>防災気象情報の重要性及び活用方法について</p>

記入日	2020年1月6日（19年度のチャレンジプラン）
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	3
タイトル	防災力を高めよう
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	0円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	2019年9月30日 13時30分～15時30分
実践の所要時間	2時間
実践の運営側で動いた人の人数	3人
防災教育の対象者の属性	小学5年生（高学年）
防災教育の対象者の人数	約65人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市消防本部 消防職員

達成目標	地域の危険箇所及び新居浜市で発生した平成16年豪雨災害の画像を活用して、地域の地理的特性を知る。 避難経路、避難所、災害用防災資機材などについて学び、学校における防災リーダーの役割を担えるように防災力を身に付ける。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p style="color: red; text-align: center;">今日からできること</p> <p>▶ スイッチを入れかえよう 2つのスイッチ</p> <p>◆ 防災に対するスイッチ 毎日、わずかな時間から防災への心構え</p> <p>◆ 緊急地震速報を見聞きしたら わずか、数秒から数十秒で地震が発生 自分の身を守ろう そのためには、何をしなければ・・・ 君たちは、守られる立場ではなく、守る立場</p> </div>  </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 今日からできることとして、防災に対するスイッチを入れ、防災に関心を持つ。 2 大雨などが降った際には水路があふれるなどして危険箇所となることを学ぶ。 3 土砂災害・浸水被害から身を守り、率先して家族、地域住民とともに地域を守れるよう知識を習得する。 	
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 過去の災害から、自分の命は自分で守ることについて知識を習得することができた。 2 金栄校区内の危険箇所、危険箇所となりうる箇所、過去に被災した箇所を知ることにより、災害発生時に命を守る大切さを学んだ。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
<p></p>	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
<p></p>	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 可能な限り、当時の画像を使用し、目で見えて学ぶことに努めた。 	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>危険箇所及び平成 16 災害被災箇所を知り、有事の際の身を守る大切さを知る。</p>

記入日	2020年1月6日（19年度のチャレンジプラン）
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	4
タイトル	防災マップについて
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	0円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	2019年10月11日・10月13日 13時30分～15時30分
実践の所要時間	4時間
実践の運営側で動いた人の人数	3人
防災教育の対象者の属性	小学生5年生（高学年）
防災教育の対象者の人数	約60人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市消防本部 消防職員

達成目標	まちあるきの実施に向けて、新居浜市防災マップを活用して、凡例の基づき地域内の危険箇所等を調べる。 金栄校区の白地図を活用して、グループごとに地域の地理的特性など地図に記載し、金栄校区の特色を知る。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%; border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; color: #e67e22;">まち歩きに向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶金栄校区で過去の災害内容や発生した場所を歩いてみよう。 ▶地域の方に過去の災害について聞いてみよう。 ▶金栄校区で災害が発生する可能性がある場所を調べてみよう。 </div> <div style="width: 48%; border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; color: #e67e22;">地域の様子をマジックで地図に書き込みましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶主要道路(目安: 対面通行可能な道路) 【黄色マジック】 ▶一般道路(車両の通行可能な道路) 【紫色マジック】 ▶路地、せまい道路(消防車両が通れない道路) 【橙色マジック】 ▶河川、水路、海岸線、池など(暗渠は点線) 【青色マジック】 ▶広場、公園、空き地 【緑色マジック】 </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 まちあるきにおいて、過去の被災内容や被災箇所を事前に調べる。 2 被災者などから平成 16 年豪雨災害による被災体験を聞き取りするために事前にグループで協議を行う。 3 災害時に土砂災害及び浸水被害などの可能性がある箇所について、金栄校区防災マップを活用して予備知識を持つ。 	
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 金栄校区防災マップなどから地域特性をグループで共有することができた。 2 安全な避難経路、避難所、災害時に役に立つ場所など災害に関連した地域特性を学んだ。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦労・工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 防災マップの凡例から避難所となる建物、浸水域、浸水高などついて知識の習得を行った。 	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>土砂災害・浸水被害から身を守る大切さを知る。</p>

記入日	2020年1月6日（19年度のチャレンジプラン）
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	5
タイトル	防災タイムラインについて
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	0円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	2019年10月25日・11月15日 13時30分～15時30分
実践の所要時間	4時間
実践の運営側で動いた人の人数	3人
防災教育の対象者の属性	小学5年生（高学年）
防災教育の対象者の人数	約60人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市消防本部 消防職員

達成目標	まちあるきの実施後に防災マップを作成し、金栄小学校タイムラインを作成するため隊村井の概要を知る。 見本となるタイムラインを活用して、各自及びグループごとに時系列に併せて想定される防災行動学ぶ。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 避難行動を判断する時に有効な情報として今後の天気を確認する。 2 避難を開始するまでに準備・考えておくことを話し合う。 3 有事の際に備え、防災グッズの準備、防災マップから情報を得る。 4 避難行動を判断する時の情報の入手方法及び避難行動を判断する時の有効な情報について学ぶ。 	
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 台風が発生してから河川が氾濫するまで時系列に沿って知識の習得ができた。 2 3日前から河川がはん濫するまでの主な備えについて、各個人及びグループにて身を守る行動について学ぶことができた。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 始めて見聞きする防災タイムラインの重要性、事前に行っておくべき備えについて理解することに苦勞した。 	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>防災タイムラインについて周知を図る。</p>

記入日	2019年1月7日（19年度のチャレンジプラン）
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	6
タイトル	金栄校区防災訓練
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	100,000円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	2019年10月27日 8時00分～12時00分
実践の所要時間	3時間
実践の運営側で動いた人の人数	30人
防災教育の対象者の属性	小学生（低学年）・小学生（高学年）・教職員・保護者/PTA 地域住民・高齢者
防災教育の対象者の人数	約1,200人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市消防本部 消防職員 自治会・公民館・社会福祉協議会・防災士・消防団

達成目標	校区防災訓練を実施し、防災力の向上を目的とする。 初期消火、煙体験、土のう作成、応急搬送、応急手当、避難行動要支援者搬送訓練などの体験及び訓練を実施し、災害時に的確に対応できる知識及び技術の習得を目的とする。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	 <ol style="list-style-type: none"> 1 緊急地震速報に併せて防災頭巾をかぶり、教室にて身を守る行動を取り、地震が収まったこと確認後、体育館へ移動、人員点呼を行う。地域住民も自宅から徒歩にて、避難所となる金栄小学校へ避難する。 2 児童、保護者、高齢者など3世代の参加全員にて各種訓練を行い、身を守る行動の知識及び技術の習得を図る。 	
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 多数の地域住民の参加のもと、地域の防災力の向上につながった。 2 毎年、訓練メニューを変更して、マンネリ化を避け、また、一人でも多くの住民が参加してもらうために、訓練日を参観日にして、保護者には積極的に参加してもらっている。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 関係機関の方々と事前打ち合わせを行い、多くの参加者が参加、体験できるよう検討をこなした。 	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>地域の危険個所の存在を知り、身を守る大切さを知る。</p>

記入日	2019年1月7日（19年度のチャレンジプラン）
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	7
タイトル	防災まちあるき
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	0円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	2019年11月20日 9時00分～12時00分
実践の所要時間	3時間
実践の運営側で動いた人の人数	10人
防災教育の対象者の属性	小学5年生（高学年）
防災教育の対象者の人数	約120人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市消防本部 消防職員 自治会・公民館・社会福祉協議会・民生委員

達成目標	防災まちあるきを各自治会単位のグループで行い、被災箇所、危険箇所、災害時有効な施設、場所などを調査する。 平成16年豪雨災害にて被災者から当時の状況について話を聞き、取りまとめ資料に反映する。	
どの力を身につけようと思いましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 まちあるきを実施して、過去の災害内容や発生した場所及び災害時に有効となる施設等を調査する。 2 防災マップ作製時の基礎資料として、平成16年災害の被災者から被災体験の聞き取りを行う。 3 地域の住民とまちあるきを行うことにより、平時から顔の見える関係づくりを行う。 	
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 安全な避難経路、避難所、平成16年被災箇所、災害時に有効な場所など災害に関連した地域特性を学んだ。 2 地域内における地理的な傾斜など地域特性を実際に自分たちの目で確認することができた。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 まちあるきに同行する地域住民と事前打ち合わせを行い、児童たちに具体的な話をしてほしいと依頼した。 2 日テレ news every の取材を受け、児童たちはまちあるきで感じた思いを素直にコメントすることができた。 	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>地域内の危険箇所などの存在を知り、身を守る大切さを知る。</p>

記入日	2020年1月7日（19年度のチャレンジプラン）
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	8
タイトル	防災まちあるき結果整理・防災マップ・タイムライン作製 防災発表会準備
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	0円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	2019年12月4日・13日・20日・2020年1月10日・ 14日・（予定）1月24日・31日・2月7日・14日
実践の所要時間	18時間
実践の運営側で動いた人の人数	3人
防災教育の対象者の属性	小学5年生（高学年）
防災教育の対象者の人数	約65人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を 持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市消防本部 消防職員 PC

達成目標	防災まちあるきで調査した結果を取りまとめ、防災マップ及び金栄小学校災害タイムラインの作製に取り組む。	
どの力を身につけよう としましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 まちあるきにおいて調査した結果を、画像及びまち歩きで感じたコメントなどを防災マップに反映した。 2 作成した防災マップを参考して、地理的な地域特性を考慮し、防災タイムラインを作成した。 3 参観日を活用して、1年間の防災教育の取り組みを発表するため、プレゼン準備を行う。 	
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 1年間を通じて土砂災害・浸水被害から命を守り、過去の災害から学ぶことができた。 2 作成した金栄小学校災害タイムラインを活用して避難率の向上につなげるために継続して防災学習を実施した。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 始めて見聞きするタイムラインについて理解することに苦慮した。 	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>土砂災害・浸水被害から命を守り、過去の災害から学ぶことができた。</p>